

いざ！大阪・関西万博へ



集合写真



参加国の国旗がズラリ



ガンダムと大屋根リング！



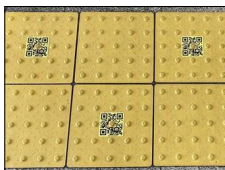
ミyakumiyakuがお出迎え

ポルトガル館
外部はロープとネットで
デザインされています。大屋根リングは迫力満点！
悪天候のため、大屋根
リングには登れず残念。

インド館



ノモの国



音声ガイドQR付点字ブロック



3Dプリンターの花壇



午後は2班に分かれて見学を行いました。



会場へ向かう道中は大雨に見舞われましたが、会場入りすると、少し晴れ間の時間もあり、無事に見学を行うことができました。

今回大阪・関西万博に行くにあたり、2つのテーマを定め万博全体を通じて各々の感性を磨く見学方法を行いました。

【未来を感じたデザイン・素材】

パビリオンの外観や内装を通して、新しい・見たことのないデザイン・素材等を見つける。

【あなたが気付いたバリアフリー】

国・大阪府・大阪市とは別に協会がユニバーサルデザインガイドラインを設けており、様々な国が集まる会場だからこそ見つかるデザインの工夫を見つかる。座談会では、所員が見つけた視点を交換し、新たな知識・技術やデジタルを利用したデザインが主流になるのか、というような建築の未来についても考える時間となりました。



5月

5月の土曜研修は、大阪・関西万博へ行き、最新の建築技術、デザイン等を見るだけでなく、会場のエネルギーを体感しました。さらに後日、座談会を実施し、意見交換も行いました。

中村設計新聞

第百三十四号

五月十七日
雨のち曇り

研修を終えて

建物自身に凝った作りをするというより、シンプルな建物にテントやワイヤー等による装飾で個性を出している印象。仮設建築物ですが、コンセプトを表現するためには工期が短くても工夫次第だと思います。スマホによる音声ガイドQRコード付点字ブロックや、オールジェンダートイレのような実験的な試みも見つけることができました。会場から普及するものがあると思うとワクワクします。

前田 直美

鋼板に見えるプラスチック、トイレ外壁の波板、特大鏡で反射させた建物の半分、ガルバリウム屋根に乘せた茅、デザインでロープを使っていたのも印象に残りました。各場面ですステナブルを意識させる演出になっていたと感じました。バリアフリーは万博会場で特別新たな発見はなかったと思います。それだけ、日常にもバリアフリーが浸透されてきているのかなと思います。

若狭 沙代



「電車のつり革」

最近の鉄道会社の新型車両は誰にでもやさしい車内の工夫をしている。つり革の位置も身長などに合わせ高く・低くしてある。私は背が低いのでその配慮は嬉しい。先日乗った車内が混雑していた。つり革の低いところへたどり着けない。仕方なく手伸ばして高いつり革に。せつかくの配慮があっても思い通りに行かないこともあるものだ。

豊田 和弘

中村設計園芸

チューリップが終わり、今はパンジーが主役です。冬を越したベゴニアも新芽が出てきました。

チューリップの片づけや観葉植物の置き換え等を所員にやって、所長自ら率先作業していただきました。次は植替え方を教わり、一緒に作業をしたいです。

昨年に引き続き今年も菜園をしようと思っています。来月にはどんな野菜を植えたのかお知らせできると嬉しいです。今後の菜園の成長にご期待下さい！

茶谷 勝子



枯れたと思っていたベゴニア(手前)が復活！



所長による植替え次は一緒に。



EXPO2025 ワールド・トリビア



「ブルガリア共和国」

首都…ソフィア 公用語…ブルガリア語
通貨…レフ 人口：約695万

東ヨーロッパ、バルカン半島に位置する豊かな歴史と文化、自然の美しさから「東ヨーロッパの宝石」と称されています。北はルーマニア、西はセルビアと北マケドニア、南はギリシャとトルコと接し、東は黒海が広がり、美しい海岸線を形成しています。

古代の遺跡から中世の城、現代の建築まで、多様な様式の建築は見逃せません。料理も多様であり、ヨーグルト、バラジャム、グリル料理などが人気です。有名な「明治ブルガリアヨーグルト」は1970年に開催された大阪万博のブルガリア館での試食をきっかけに開発された大成功となりました。世界に何億種も存在するバクテリアは体内に39兆個を超えて繁殖しており、地球上で酸素を発生させ、生態系の基盤を作る等、私たちの存在にかかせないものです。ブルガリアのパビリオンのテーマは「自然と共に進化する。生命を守り持続可能な未来をつくるためには、自然と共に歩むことが必要です。過去・現在・未来が織成す空間は、共感し協力することの大切さを表現しています。」



色鮮やかな伝統衣装「ノシヤ」



多様な民族によって建てられた多彩な建築

長谷川 恵理